



ちゅうりっぷ組だより 9月号



平成29年9月20日 こり保育園 担当: 鈴木

霜刈りも始まり 日中はすっかり秋らしくなりました。

8月下旬から始まった本園での生活は初日こそ戸惑った様子でしたが、ロッカーの中を覗いたり、保育者が押入れを開けると“何が入っているの?”と興味を示し、探索を楽しんで過ごしております。

ところで、運動遊びをした日のことです。

体育ローテーション用の長いトンネル(メッシュ状)に入ると「キャッキャッ」と笑い声を上げてくぐってくる子に 外側から覗いて話し掛けるように声を出す子がいました。トンネル内をハイハイしていた子は その声に立ち止まりトンネル越しに2人で“お話し”をしていました。

そのやりとりが 微笑ましかったです。

また、初めてのフラフープでは 車輪の中に座る子、“どうやって使うのかな?”と頭上まで持ち上げる子、そして次第に友だちとの電車ごっこに発展し楽しむ子とたくさん姿が見られました。

1ダズラするにも友だちと一緒に力を合わせ、柵をすらしてそおーとテラスへ出ようとし…保育者と目が合うとにっこり。笑顔で保育室へ戻ってきてくれます。

日々の生活の中で今後とも友だちと協力して一つのことを行なう喜びが感じられるように働き掛けていきたいと思っています。

分園では見たり聞いたりしたことのないゆり組とひまわり組の 鼓笛の練習をテラスで見学してきました。大きな音に驚いてしまうかな?と心配しましたが、リズムに合わせて手を叩く子や体を揺らして楽しむ姿が見られました。

朝の体操も運動会の準備体操になり、初めての大きな行事で成長した姿を見ていただけることを私達も今から楽しみにしています。

。お願い。

スカートやチュニック、裾の長いズボン
転倒の原因になります。
ご遠慮下さい。

